



動物レスキュー通信

2018年12月 第67号 (平成30年12月1日発行)

発行元

一般財団法人 国連世界動物救済支援機構 詩月財団

詩月(しづく)：詩月財団 理事長
愛玩動物飼養管理士 一級
ペット災害危機管理士 三級
お問い合わせ : sizuku.foundation@gmail.com

ワンちゃんとの暮らし

マナーについて考える



私の周りには大好き、ネ「好き」人がたくさんいます。世の中には犬や猫と共に生活している人や、あるいは好きだけれどもアレルギーを発症してしまうので触れ合う事、飼う事は出来ない人や、犬や猫が苦手な人、嫌いな人など、様々です。この犬や猫が嫌いな人の中には、飼い主さんの行動が原因で犬嫌い、猫嫌いになってしまった人もいます。東京都福祉保健局が平成23年に行つた「東京都における犬及び猫の飼育実態調査」によると、犬に関する迷惑だと感じる内容として①吠え(88.7%)②尿(57.7%)③鳴き声(37.9%)④悪臭(26.0%)⑤放し飼い(25.6%)⑥その他(2.9%)となつており、そのほとんどが飼い主さんのマナーを向上させれば改善できる内容だと言えます。

何に気を付ければいいの?

環境省による「住宅密集地における犬猫の適正飼養ガイドライン」にも示されていますが、①②の「ワン尿問題」に関しては、散歩の時は必ずフン尿を処理するための袋を携行し、フンは自宅に持ち帰つて処理し、排尿は水で洗い流すなどの処理をします。フンをさせる時は出来るだけ地面を汚さないよう、「ペットシートや新聞紙などで受けあがる」のが理想です。排尿は出来るだけ側溝や排水溝周辺であるように促し、水で洗い流すようにし、洗い流し用の水は必

ず持参するようにしましょう。③の鳴き声に関しては、しつけがとても重要になりますが、それだけではありません。犬が吠え続けると言う行動には、様々な理由があります。病気やけがなどが原因の場合や高齢による認知症が原因の場合もあります。これらの場合には早急に獣医さんに診てもらいう必要があります。不妊、去勢手術をしていない犬の場合は、発情期が来るとそのたびによく鳴くようになります。繁殖をするつもりがないのであれば不妊、去勢手術を受けさせてあげましょう。乳腺腫瘍、子宮蓄膿症、精巢腫瘍などの予防にもなるのです。飼い主さんの気を引きたい時や何かを要求している時に吠え続ける事もありますし、飼い主さんがない不安で吠え続ける子もいます。どの場合にしても、なぜ鳴いているのかを突き止め、改善する事が必要です。家族だけではどうにもならない場合は専門家に相談する事が必要になる事もあるでしょう。④悪臭問題に関しては、毎日一緒にいる飼い主さんは気付きにくいのですが犬の体臭は案外強いため、その予防として毎日のブラッシングを習慣付けましょう。ブラッシングは皮膚表面の無駄毛を取り除き、風通しを良くしますので「オイ対策」になります。又、湿らせたタオルなどで体を拭くのも効果的。被毛に付いた汚れと一緒に「オイ」の元も拭きとる事が出来ます。その際にドライシャンプーを併用するのもいいですね。そして定期的にシャンプーをしてあげる事も大切。しかしながら頻繁に洗いすぎてしまうと、皮膚

にある脂分を落としすぎてしまい、皮膚病を招いたり悪化させてしまう事があるので、成犬であれば月1~2回ほどにとどめておきましょう。⑤放し飼いの問題に関しては、散歩の時だけではなく、公園などで遊ぶ時にもリードは必ず付けるようにして下さい。原則的に犬の放し飼いは禁止されているのですが、それだけではなく通常行人や散歩している別の犬に飛びかかってしまうトラブルになる事を防いだり、犬自身が交通事故などに遭遇してしまわないためにとても大切な事です。犬を自由に遊ばせてあげたい場合はドッグランなどの施設を活用しましょう。しかし、その場でも最低限のしつけ、訓練は必要になります。他の犬との「ミニューケーション」を受けさせてあげましょう。乳腺腫瘍、子宮蓄膿症、精巢腫瘍などの予防にもなるのです。飼い主さんの気を引きたい時や何かを要求している時に吠え続ける事もありますし、飼い主さんがない不安で吠え続ける子もいます。どの場合にしても、なぜ鳴っているのかを突き止め、改善する事が必要です。家族だけではどうにもならない場合は専門家に相談する事が必要になる事もあるでしょう。④悪臭問題に関しては、毎日一緒にいる飼い主さんは気付きにくいのですが犬の体臭は案外強いため、その予防として毎日のブラッシングを習慣付けましょう。ブラッシングは皮膚表面の無駄毛を取り除き、風通しを良くしますので「オイ対策」になります。又、湿らせたタオルなどで体を拭くのも効果的。被毛に付いた汚れと一緒に「オイ」の元も拭きとる事が出来ます。その際にドライシャンプーを併用するのもいいですね。そして定期的にシャンプーをしてあげる事も大切。しかしながら頻繁に洗いすぎてしまうと、皮膚今までワンちゃんに嫌悪感を抱いていた人も快適に過ごす事が出来るようになり、人の気持ちも次第に変わってくる事もあるかもしれません。そうなればトラブルも減り、幸せなワンちゃんが増える事に繋がると信じております。(詩月)